



MINATO-TOKYO

みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/永野博
Mail: info@minatounesco.jp http://minato-unesco.jp

2019年6月1日発行 第156号

P1	巻頭言：メキシコ大学院大学の思い出	P3	茶の湯体験教室/巻頭言つづき
P2	MUA 総会	P4	事務局便り/編集後記

メキシコ大学院大学の思い出

港ユネスコ協会 名誉会長 三輪公忠



本年10月1日に中華人民共和国としての現代中国は建国70周年を迎える。その立役者は毀誉褒貶相半ばする毛沢東(1893-1976)である。日中戦争を勝ち抜くことに貢献したが、建国後の中国を計り知れぬ混乱に導いた文化大革命もその功罪のうちにある。それについても思い起こすのは、私の個人的経験であったメキシコ大学院大学での半年にわたる客員教授としての思い出である。

それは1969年9月から1970年3月までの半年間の事であった。当時文部大臣を引き受けていた永井道雄さんが、メキシコ合衆国の首都メキシコ市の国立メキシコ大学院大学に日本文化講座を開設し、そこでの講義を頼まれたのだ。

永井さんからは、明治維新後の日本の近代化路線の歴史を教えることを提案された。時はあたかも「明治100年」を祝ったばかりのころであった。日本は近代化に成功したとされていた。それに対し中国は毛沢東の指導の下で、混乱を極めていた。いわゆる「文化大革命」政策の結果であった。

その頃アメリカの大学では日本と中国を比較対象とする近代化論の研究が進んでいた。その中心にいたのはプリンストン大学のマリウス・B・ジャンセン教授であった。私はちょうどジャンセン教授を指導教授としてプリンストンで博士号を取得し、帰国後、上智大学の国際関係研究所の創設に参画したばかりのときであった。明治100年を迎え、太平洋戦争に敗北・失敗した近代国家日本ではなく、真逆に、中国との比較において東アジアでの唯一無二の近代化に成功した例、とされたのである。

しかし日本の歴史学会では、これを当時駐日大使に就任したばかりのハーヴァード大学のライシャワー教授に引っ掛けて、「アメリカによる同盟国日本への肩入れのライシャワー攻勢」とされていたのである。「軍国主義の前科者国家、日本」ではなく、アメリカにならって「民主主義、自由主義万歳の新日本」になるという事であった。

当時日本の中国学者は、押しなべて「文革」をもう一つの「近代化」として高く評価していた。八幡製鉄のような巨大な工業化ではなく、「個人が自分の家の裏庭で、鍋や鉄瓶を鑄造している」と報告していた。中国専門家のうちで唯一、例外だったのは中嶋嶺雄東京外国語大学教授だけであった。中嶋教授は香港に居を定め、文革の経緯を観察していた。毎日、多数の人間の死骸が大陸から流れてきていたという。後に中国政府自身が公表した総数は3000万人にのぼっていた、と記憶する。これが文革という変革がもたらした一結果とされた。

今年10月1日は中国共産党政権にとって建国70年の節目である。この時に当たって、毛沢東人気が再燃している、という。しかしそれは「文革」とは絶縁した、一般の市民と変わるところの無い「質素で穏健な好人物」としてであるらしい。今日の中国の最高指導者である習近平国家主席が進めている反腐敗闘争にとって、毛沢東は清廉潔白なリーダーの鏡になる、ということだ。 (P. 3へ続く)

2019年度 MUA 総会

日時：2019年4月24日（水） 18:00～20:00

場所：港区立生涯学習センター 3階 304号室

港ユネスコ協会の総会が4月24日（水）午後6時から、港区立生涯学習センター304号室に於いて開催されました。武井雅昭港区長は公務のため出席できなくなりましたが、代理として青木康平教育長が過密なスケジュールの中をぬって列席くださいました。その他、港区教育推進部生涯学習スポーツ振興課より木下典子課長、庄司健二係長、穀山杉郎様にも列席いただきました。

協会会員30名の参加のもと、宮下ゆかり副会長の司会で開会されました。永野会長より開会に当たっての挨拶があり、続いて武井港区長のご挨拶を青木教育長の代読にいただきました。



永野会長挨拶では、

港ユネスコ協会の現状と課題を説明された後、今後は若者の参加が重要であり、協会としても三田高校、六本木高校等との交流を行う中、若者との連携を更に推し進めると説明がありました。次に、ユネスコ協会関連の今後の活動につき、9月に東京で日本ユネスコ協会連盟の大会が、10月に埼玉で関東ブロック・ユネスコ活動研究会が、それぞれ開催されることが紹介されました。最後に、日本が今後生き延びてゆくためには、平和な世界が不可欠であり、平和

な世界を築くためには人のネットワークが大事であること、そのために皆さんと引き続き協力し平和な世界を目指したいと、強調されました。

武井区長ご挨拶では、

最初に、港ユネスコ協会は、外国大使館が多数設置され外国人居住者の多い港区で、設立以来日本の文化の紹介・浸透に努力してきた、その活動に敬意を表するとの暖かい言葉を頂きました。更に、港区の現状に言及され、区内には140か国2万人の外国人が住んでいることが紹介されました。そのように国際的な港区であり、区としてもそれに対応した施策を打つ計画であり、例えば、今後は様々な面で多言語対応を推進する、とのご説明が披露されました。最後に、このような施策も踏まえ、成熟した港区を目指すと表明されました。

青木教育長ご本人よりは、「役柄いろいろな学校を回るが、今日のように素晴らしい板書（式次第の）を見たことがない」とお褒めの言葉を頂きました。（事務局の高橋さんお疲れ様でした！）



挨拶に続き、永野会長が議長に選出され各議案の議事が進められました。

議事内容：第一号議案（2018年度事業報告、新入会員紹介）、第二号議案（2018年度役員会報告）、第三号議案（2018年度決算報告）、第四号議案（2018年度事業費内訳）、第五号議案（2018年度監査報告）、第六号議案（2018年度日ユ協連、都ユ連に対する協力関係報告及び2019年度役員（案）承認の件）、第七号議案（2019年度事業計画（案））、第八号議案（2019年度予算（案））、第九号議案（2019年度港ユネスコ協会役員（案））が、順次議事に付され承認されました。第九号議案の役員人事では、佐藤律子氏が新たに常任理事に就任される異動案が承認されました。

全ての議事終了後、永野会長から井上順一事務局長が2月末日を以って退任され、後任として津野久志氏が4月初めより勤務開始していることが紹介された。

最後に、港区教育推進部生涯学習スポーツ振興課の穀山様から、「教育委員会として港ユネスコ協会の活動をしっかりサポートしていきたい」とのご挨拶を頂き総会が終了しました。

（事務局長 津野久志）

茶の湯入門講座【第3回】

日時:2019年3月25日(月)18:00~20:00

会場:港区立生涯学習センター203号室

現在、年に1回開催されている茶の湯体験教室を一步進めて、「もう少し茶の湯の基本を学びたい」という方向けの講座です。2018年6月から開始して、今回は3期目の3回コースを行いました。

講師:小野宗恵(裏千家 専任講師)

内容:2回目の復習と盆略点前(お盆の上でお茶を立てる初心者の点前)



参考(これまでの稽古内容):

1回目 お客様の心得(挨拶・歩き方・お菓子と抹茶の頂き方)

2回目 1回目の復習と割り稽古(ふくささばき・なつめ・茶杓・茶碗の清め方)

☆いずれの回もお菓子とお抹茶をいただきます。

参加者の声:

- ・茶の湯は、奥が深くやればやるほど楽しくそして難しいです。
- ・2時間たっぷり稽古が出来、仕事の疲れもとれます。
- ・出来るだけお稽古を続けたい。



MUA スタッフからのひとこと:

日本の伝統茶の湯を学びたいというニーズの高まりに答えるべく、気楽に学べる講座として開講しました。開講時間の関係か、お勤め帰りの受講生がほとんどで、男性が半数を占めています。中には1回目から参加の方、講座参加をきっかけに当協会の会員登録をして頂いた方もいらっしゃいます。お稽古道具(ふくさ)などの貸し出しを行なっていますが、皆さま各自購入されてのご参加、熱心さが伝わってまいります。
(副会長 平方一代)

(P.1から続く)メキシコ大学院大学の思い出

前置きのつもりが長くなってしまった。問題はメキシコの国立大学院大学で何が起きたかということである。私の講義が始まって2、3週間は経っていたのだろうか。コロンビア出身のセレスティーノという学生が言ったのである。「我々ラテンアメリカの学生にとって、明治日本の近代化路線の歴史はイレヴェヴァントである。今日のラテンアメリカ諸国にとっては、現代中国が体験している文化大革命こそが、数多のポジティブな教訓を示している、と言えるでしょう」と。そして続けて「是非、文化大革命の話が聞きたい」と言うのであった。

それに私はどう対応したか。私が承知している事のうちには、母校プリンストン大学のことがあった。60年代に世界中の大学キャンパスを吹き荒れた学園紛争のあとで、一時の平和が訪れた時、プリンストンの学部学生はヘルマン・ヘッセの『シッダルタ』の購読を要望した。すると大学当局はその要望を具体化して、学生に応えたのであった。付加価値創造型の教科目内容の変更であった。学生の私への要望に対して、起った事は刮目に値する。私が外務省の担当官に提案した「中国の『文革』を教えることのできるのは宇野重昭・成蹊大学教授」が早速、具体化されたのである。

一見、時代離れした牧歌的展開のように見えるかもしれないが、メキシコの高等教育機関が置かれていた変革への切迫感からして、妥当な対応であった、と言えるかもしれない。数ヶ月前に、学園紛争制圧のために銃砲が使われたばかりで、街中に立地している校舎の外壁は分厚いガラス張りであったが、街路に面した6階の教室の壁面には、官憲が放った銃弾が貫通した、直径2センチほどの穴が此処彼処にいくつか生々しく残っていたのである。

若い政治学担当の教師の研究室の扉には部屋側にフィデル・カストロの大きな肖像写真のポスターが貼られていたりした。若い日系女性の教師が「白人の教師達は、近郊のメスティーソの貧農が鋤や鍬をかついで市中のインテリ層をも敵とする階級闘争に攻め入ってくる、と本気で心配しています」と教えてくれたりもした。そんな世相の時代であった。
(2019・3・30記)

(三輪公忠=みわ・きみただ=上智大学名誉教授・元同大学国際関係研究所長)

事務局便り

【ようこそ 新入会員】個人会員：佐藤 直さん、高橋 郁子さん、津野 久志さん、山田 祐子さん

【今後の事業予定】(詳細は別途、チラシ、ホームページ、ツイッター、港区報等でご案内します)

- ☆4月3日(水)～6月19日(水)【春期】初級英会話講座、毎水曜日、18:30～20:30、コース全12回
講師：マーク・マードック先生 会場：港区立麻布区民センター
- ☆4月10日(水)～6月19日(水)【春期】中級英語講座、毎水曜日、18:30～20:30、コース全10回
講師：笠原三郎先生 会場：港区立生涯学習センター
- ☆7月3日(水)～9月25日(水)【夏期】初級英会話講座、毎水曜日、18:30～20:30、コース全12回
講師：マーク・マードック先生 会場：港区立麻布区民センター
- ☆7月3日(水)～9月18日(水)【夏期】中級英語講座、毎水曜日、18:30～20:30、コース全10回
講師：笠原三郎先生 会場：港区立生涯学習センター
- ☆5月27日(月) 18:00～20:00 茶道入門講座(3回コース)
6月24日(月) 講師：小野 宗恵(裏千家 専任講師)
7月22日(月) 会場：港区立生涯学習センター203号室
- ☆6月1日(土) 港ユネスコ協会会報 和文156号、英文155号発行
- ☆6月14日(金) 18:30～20:00 新入会員を囲む会
会場：港区立生涯学習センター305号室・MUA事務局
- ☆6月21日(金) 18:30～20:30 第1回国際理解講演会「縄文の美を楽しむ」
講師：品川欣也氏(東京国立博物館 考古室長)
会場：港区立生涯学習センター101号室
- ☆6月29日(土) 13:30～16:00 ゆかた着付け体験教室
会場：港区立生涯学習センター203号室
- ☆7月16日(火) 14:00～15:30 中国大使館訪問
- ☆7月20日(土) 12:00～15:30 世界の味文化紹介「モンゴルの家庭料理」
講師：シレンデフ・オユンエルデネさん、バトスヘ・ウヌビレグさん
会場：港区立男女平等参画センター「リーブラ」料理室

【事務局人事異動】

- ・2月末を以って井上順一事務局長が退任され、4月から津野久志さんが後任に就かれました。

【ご協力をお願い】

- ・日本ユネスコ協会連盟の東日本大震災子ども支援募金。常時受け付け中です(MUA事務局まで)。

【編集後記】

- ・事務局から200メートルほどのところに烏森神社がある。「瘧封じ」で有名である。この種のことは科学的には証明できず、信じるか信じないかは個々人の自由であろうが、「お守り」で安心し心が朗らかならば、それだけでも多少は効果があるかも知れない。家内はお世話になっており、今のところご利益がある。(津野久志)
- ・トランプの中国へ高関税を課す政策は、1980年代に日本のGDPが世界2位になり、米国の代表的資産の買収を始め、Japan as No.1といわれた時期に、米国のドル安・円高策の「プラザ合意」やBIS規制により、日本企業はダメージを被り、「バブル崩壊」の要因となった経緯を回想させる。(前田幹博)
- ・3月下旬、日野市の姉妹都市 Redlands (米国加州) から16名の高校生達が来日した。2週間のホームステイ(京都・奈良へも小旅行)で、ホストファミリーと同様、沢山の異文化体験をして帰国した。帰国後はスマホ時代の若者らしく、すぐにパワポで画像満載の訪日体験記ビデオを作製し、報告会で発表したそうで地元紙も採り上げてくれた。(棚橋征一)

港ユネスコ協会事務局 (火～金 10:30～17:00)

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL03(3434)2300 TEL・FAX03(3434)2233

Eメール：info@minatounesco.jp ウェブサイト：<http://minato-unesco.jp>